

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年10月6日)

ページ

■ 「鳥取だいせんサイクルバス」の試験運行について

【観光戦略課】・・・2

輝く鳥取創造本部

「鳥取だいせんサイクルバス」の試験運行について

令和7年10月6日

観 光 戦 略 課

大山エリアにおけるサイクリングの利便性向上と新たな観光体験の創出を目的として、鳥取県と日本交通株式会社が連携し、初心者から上級者まで誰もが気軽に楽しめる「サイクルバス」の試験運行を実施します。

(※「サイクルバス」とは、自転車を解体せずそのまま車内に持ち込み、路線バスで移動できるサービス。)

1 運行概要

- (1) 実施区間 大山町内路線：大山口駅～大山寺（途中停留所での乗降不可）
- (2) 運行期間 令和7年10月11日（土）～11月30日（日）（土日祝のみ）
- (3) 運行便数 1日7便 大山口駅発4便、大山寺発3便（下山便）
- (4) 定 員 各便2名・2台
- (5) 利用料金 1名＋1台：1,500円（乗車料金＋自転車積込料金を含む）
- (6) 予約方法 JR西日本観光ナビ「tabiwa by WESTER」（9月20日より予約開始）

2 「鳥取だいせんサイクルバス」の特徴

- ・ 従来は自転車の持ち込みができなかった（輪行を含む）路線バスに、自転車をそのまま積み込んで大山観光拠点エリア（標高約700m）まで一気にアクセスできるため、観光地巡りとダウンヒル中心のルートで絶景を初心者でも気軽に楽しむことができる。
(※「輪行」とは、自転車を解体し専用の袋に収納して、電車やバスなどの公共交通機関で運ぶこと。)
- ・ 車内積載方式にすることで、導入・管理コストを大幅に削減し、持続的な運行が可能となる
- ・ 「鳥取うみなみサイクルトレイン」と同じ予約システムを活用することで、サイクリストの利便性を確保した。

3 取組内容・今後の展開

- ・ 大山エリアのサイクリングマップ（モデルコース）作成や、自転車系 YouTuber による体験動画、SNS 広告などを通じて魅力を発信し、サイクリストの誘客を図っている。
- ・ 試験運行を通じてニーズや課題を把握し、来年度以降の本格運行につなげ、サイクルトレインとも連携することにより、本県サイクリングの魅力向上及び県内周遊の更なる促進を目指す。

[県内周遊の促進]

東西方向：全長約152キロ「鳥取うみなみロード」及びその沿線でサイクルトレインを活用

南北方向：勾配のある山間部等を初心者でも楽しめるようサイクルバスを活用

